

令和3年度第1回定例研講演 質問への回答

○通級指導について

Q:文科省から出ている定数化(13名)は今後どうなっていくのか。藤枝市では、現在担当一人当たり24名(週24時間)となっている。

A:通級による指導に係る加配定数については平成29年度から10年で基礎定数化に段階的に実施されます。なお、文部科学省「特別支援教育資料(平成29年度)【第3部その3 資料編】」(下記URL参照)に掲載されている「平成29年度通級による指導実施状況調査結果について」によると、「担当教員一人当たりの担当児童生徒数は、平均すると13名程度であり、数年横ばいの状況である」と報告されています。ちなみに、同資料の静岡県データを分析すると、小学校は18.3人、中学校は17.9人と全国平均より高いようです。なお、教員1人当たりの担当児童生徒数を何人にするかは各市町教育委員会の様々な事情によるものだと思います。

https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2018/06/27/1406445_005.pdf

Q:サテライトや巡回という方式が、今後どういう傾向に進んでいくのか。

A:文部科学省の「通級による指導実施状況調査結果」の通級形態別児童生徒数を確認すると、巡回指導は、平成27年度6,175人(6.9%)、平成28年度5,631人(5.7%)、平成29年度6,581人(6.0%)であり、必ずしも増えているとはいえません(文部科学省の「通級による指導実施状況調査結果」では、平成30年度から通級形態別児童生徒数が示されなくなっているため、最近のデータは不明です)。また、静岡県のサテライトについては、ここ数年の正確なデータを把握していないのでなんともいえません。ただ、文部科学省が将来的に目指しているのは、どの学校にも、「特別支援教室」が設置されるようになることのようなようです。

Q:巡回相談に関する全国調査で、無回答の自治体が22と非常に多いように感じるが、回答を得られなかった理由や、その地域の実態について知りたい。

A:回答いただけなかった理由や地域の実態については把握できていません。

Q:愛着障害と通級との兼ね合いをどのように捉えたらよいか。

A:もともと発達障害があり、育てにくさによって不適切な養育となり愛着障害を併存する発達障害の子どもは少なからずいます。そうした子どもに対する指導の場の1つとして通級指導教室は重要であると思われます。

Q:静岡県の通級児童(言語)に関して、中学生が0なのに、高校生が23人いるのはなぜか。

A:高校側の回答をそのまま県で集計した結果です。静岡県の高校通級は、診断書等は必要としないので、高校が対象生徒の主訴を、コミュニケーションの問題と捉え、言語障害と回答したものと推測されます。

Q:通級指導教室が開かれた存在となり、正しい認識で広がってほしい。通級指導教室について、もっと多くの教員や保護者に広めたいが、どうすればよいか。

A:教職大学院の現職院生に聞くと、小学校では自分の担任する児童で通級による指導を受けていたという院生が多いのですが、中学校はまだ認知度があまり高くない印象です。通級指導教室の設置数が小学校の方が圧倒的に多いので、当然と言えますが、通級の先生方が通級の対象児だけでなく、校内で困っている児童生徒や教員の支援にも力を発揮することができれば、通級の存在がさらに高まっていくと思います。ただ、そのためにはどうしても時間的な余裕が必要ですが。

Q:通級に通って失敗した例のデータをまとめたものがあつたら知りたい。そこから問題解決につながると思うので。

A:確かにその通りだと思います。ただ、残念ながら私自身はそのようなデータを見たことがありません。

Q:通級していても、ソーシャルスキルの状態が悪化する可能性があるのはなぜか。

A: 以下の論文を引用したのですが、この研究では、「自己理解が低く、週 1 単位時間以内の児童は、ソーシャルスキルの得点が低下した」という結果でした。その理由について、この論文では言及されていません。【文献】岡田智他(2020)発達障害を対象にした通級指導教室におけるソーシャルスキルトレーニングの効果の検討：学ぶべき課題の自己理解,通級時間数に焦点を当てて. 臨床心理学, 20(3),339-347.

○思春期について

Q:どうして男女の気になる行動が表れる年齢に差が出るのか。(女子の気になる行動はどんな形で表れるのか。)

A: 比較的年齢が低い場合には、行動の激しさなどから男子の気になる行動が目立つのに対して、女兒の問題は目立ちにくいからです。以下の論文によると、女兒の病院受診の理由は、二次障害や併存症による受診が多いという。具体的には、睡眠障害、起立性調節障害、頭痛、腹痛などの身体症状や不安や抑うつなどの精神症状です。【文献】山内裕子・宮尾益知・奥山眞紀子・井田博幸(2013):女兒 Asperger 障害の臨床的特徴.脳と発達,45(5),366-370.

Q:「気になる生徒に占める女子の割合」が学年が上がるにつれて高くなる、ということに関して、不登校に関する男女差や、要因の割合などとの関連性はあるか。

A:上記の論文のデータとして、不登校は男児の約 16%、女兒の約21%に認められたとあり、女兒の不登校の割合が高いことが指摘されています。

Q:思春期女子の問題を早期に発見し、介入するにはどんなことに気を付ければよいか。

A:まずは、本人が信頼して悩みを打ち明けられるような関係になることです。そのためには、時間をかけて話を聞いてあげることです。

Q:小児科から精神科に移行する方は何割くらいか。

A:それに関するデータは見たことがありません。

○高校通級について

Q:高校通級の現状や、具体的な指導内容を知りたい。

A:静岡県の高校通級は自校通級と巡回通級の2つの形態で実施されています。①自校通級:令和2年度は静岡中央高校通信制の課程 3 キャンパス(41 人)と浜松城北工業高校(1 人)で実施。なお、浜松城北工業高校は令和 2 年度のみ自校通級での実施です。②巡回通級:令和2年度は全日制高校 13 校、定時制 3 校で実施。指導は、非常勤の通級指導講師が主となり、高校の通級担当教員とともに行います。指導内容は、対象生徒によって異なりますが、多いのは自立活動領域の「心理的な安定」「人間関係の形成」「コミュニケーション」に相当する指導で、基本的に個別指導のようです。

○他機関について

Q:通級退級または中止後、他につながることでできる機関はどのようなものがあるのか。

A:最近だと、放課後等デイサービスでしょうか。

Q:青年期では、病院以外にどんな機関で支援を行ってくれるのか。

A:発達障害の場合に中心となる専門機関は、発達障害者支援センターです。

○幼児のSST

Q:なぜ通級群は、一般群と比べて両親を相談相手とする割合が多いのか。また、他者からのアドバイスを受けることへのストレスが高いのはなぜか。

A: 発達障害の子ども、とくに ASD 児は定型発達の子どもの比べて、そもそも友達が少ないことが報告されています。そのため、どうしても相談相手が親や教師となるのだと思います。他者からのアドバイスを受けることへのストレスが高いのは、アドバイスの相手が友人よりも母親が多いことに関係しているのではないのでしょうか。親からのアドバイスは通級児でなくても言われた本人には耳が痛いことが少なくないと思います。

Q:VMA とは何か。

A:知能検査での言語精神年齢(Verbal Mental Age) 【文献】別府哲(2020):自閉スペクトラム症と9歳の節一ユニークな心理化と自己理解. 障害者問題研究,48(2),98-105.

○大学での支援について

Q:静岡大学における障害学生の例が参考になった。そのほかにも、社会生活を送る場面や、就労の場での配慮があれば教えてほしい。

A:障害のある人に対する就労支援サービスとしては、ハローワークにおける職業紹介や職業指導、地域障害者職業センターにおける職業評価、準備訓練、ジョブコーチ支援等があります。また、障害のある人が就労と生活の両方の相談ができる機関として障害者就業・生活支援センターがあります。

○研修について

Q:「汎化が生じにくいという問題を抱える自閉症者に対して、解読スキルの向上による対人行動の改善を目指したトレーニング」について知りたい。

Q:解読スキルの具体的な指導内容を知りたい。

A: 解読スキルとは、相手の行動からその意図を正確に読み取るというスキルです。相手の様子(表情、態度、ことば)に注意を向けて、どんな気持ちか考えさせるなどの指導です。

Q:幼児の、対人行動の改善を目指したトレーニングはどんなものか知りたい。

A:まずは大人(保育者)との関係の形成です。人に対する安心感、他人と一緒に過ごすことへの快体験を積み重ねることです。そのうえで、先生の話を書くときは黙って聞く、近くの友達に話しかけるときは声のボリュームを下げる、ひとりできないときは「先生、手伝って」など助けを求めるなどの社会的ルールを教えることが大切です。